

記載例

特定施設の種類ごとの数変更届出書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

変更の工事の開始の日の  
30 日前までに届け出て  
ください。

(あて先) 宇都宮市長

住 所 宇都宮市〇〇町〇丁目〇-〇

届出者 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

氏 名 株式会社 〇 〇 〇 〇  
代表取締役 〇 〇 〇 〇 ㊟

騒音規制法第 8 条第 1 項の規定により、特定施設の種類ごとの数の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		株式会社 〇 〇 〇 〇 宇都宮工場		※ 整 理 番 号				
工場又は事業場の所在地		宇都宮市〇〇町〇丁目〇		※ 受 理 年 月 日		年 月 日		
				※ 施 設 番 号				
				※ 審 査 結 果				
				※ 備 考				
特定施設の種類	型 式	公称能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)
2 空気圧縮機	〇〇型	15kw	5台	2台	9:00	17:00	9:00	17:00

- 備考 1 特定施設の種類ごとの数に変更がある場合であっても、法第 8 条第 1 項ただし書の規定により届出を要しないこととされているときは、当該特定施設の種類については記載しないこと。
- 2 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第 1 に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細部があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 3 ※印の欄には記載しないこと。
- 4 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【提出先：環境保全課 TEL632-2407】

(別表)

法令該当区分		騒法, 振法, 条/騒, 振	騒法, 振法, 条/騒, 振	騒法, 振法, 条/騒, 振
種類ごとの数・構造	法の別表第1, もしくは, 条例の別表第2の第1欄及び第2欄の番号	1-2	1-2	1-2
	特定施設の名称	液圧プレス	液圧プレス	液圧プレス
	特定施設の型式	アマダSP30	アマダ8025	クボタKK-1
	特定施設の数	1	1	1
	特定施設の規模 (KW・重量 t・m <sup>3</sup> ・kg)	30 t	80 t	50 t
使用方法	工事着工予定年月日	既設 (届出済)	既設 (届出済)	平成17年 9月30日
	工事完了予定年月日			平成17年 9月30日
	使用開始予定年月日			平成17年10月 2日
	事業場 (工場) の操業時間	8:30~17:30	8:30~17:30	8:30~17:30
	1日の使用時間 (時間)	8時間	8時間	8時間
	1回の使用時間 (時間)	0	0	0
	1日の使用回数 (回)	0~1, 200回	0~1, 200回	0~1, 200回
	季節変動	なし	なし	なし
防止の方法	騒音・振動の防止の方法の概要	防振ゴム使用	基礎を防音, 防振構造とした	防振ゴム
参考事項	騒音防止施設	設計施工者		工場全体の敷地面積 1,000 m <sup>2</sup>
	騒音防止施設	工事予定費用		
	騒音防止施設	資金内訳	自己資金 〇〇万円	銀行借入 〇〇万円
	騒音防止施設	工事着手予定年月日	工事完了予定年月日	使用開始予定年月日
添付書類	<p>1. 特定施設の配置図 工場事業場の建物の配置を明示するとともに, 特定施設の位置を朱書きすること。(縮尺又は距離を記載したもの)</p> <p>2. 工場, 事業場の付近見取図 周辺200メートルの付近図とし, 付近の状況を明示するもの(縮尺又は距離を記載したもの)</p> <p>3. 騒音の発生及び騒音の防止に係る操業の系統を説明する書類</p> <p>4. 騒音の大きさ (デシベル) に関する説明書及び特定施設の騒音値が, 明記されているカタログ</p>			

(別表)

法令該当区分		騒法, <b>振法</b> , 条/騒, 振	騒法, <b>振法</b> , 条/騒, 振	騒法, <b>振法</b> , 条/騒, 振
種類ごとの数・構造	法の別表第1, もしくは, 条例の別表第2の第1欄及び第2欄の番号	1-2	1-2	1-2
	特定施設の名称	液圧プレス	液圧プレス	液圧プレス
	特定施設の型式	アマダSP30	アマダ8025	クボタKK-1
	特定施設の数	1	1	1
	特定施設の規模 (KW・重量 t・m <sup>3</sup> ・kg)	30 t	80 t	50 t
使用方法	工事着工予定年月日	既設 (届出済)	既設 (届出済)	平成17年 9月30日
	工事完了予定年月日			平成17年 9月30日
	使用開始予定年月日			平成17年10月 2日
	事業場 (工場) の操業時間	8:30~17:30	8:30~17:30	8:30~17:30
	1日の使用時間 (時間)	8時間	8時間	8時間
	1回の使用時間 (時間)	0	0	0
	1日の使用回数 (回)	0~1, 200回	0~1, 200回	0~1, 200回
	季節変動	なし	なし	なし
防止の方法	騒音・振動の防止の方法の概要	防振ゴム使用	基礎を防音, 防振構造とした	防振ゴム
参考事項	騒音防止施設	設計施工者		工場全体の敷地面積 1,000 m <sup>2</sup>
	騒音防止施設	工事予定費用		
	騒音防止施設	資金内訳	自己資金 ○○万円 銀行借入 ○○万円	
	騒音防止施設	工事着手予定年月日	工事完了予定年月日	使用開始予定年月日
添付書類	<p>1. 特定施設の配置図 工場事業場の建物の配置を明示するとともに, 特定施設の位置を朱書きすること。(縮尺又は距離を記載したもの)</p> <p>2. 工場, 事業場の付近見取図 周辺200メートルの付近図とし, 付近の状況を明示するもの(縮尺又は距離を記載したもの)</p> <p>3. 騒音の発生及び騒音の防止に係る操業の系統を説明する書類</p> <p>4. 騒音の大きさ (デシベル) に関する説明書及び特定施設の騒音値が, 明記されているカタログ</p>			

別添様式1  
(6-(3)定形的添付書類)

記載例

参 考 事 項

記載上の注意 1 届出等に係る工場・事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○印で囲むこと。  
2 届出書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらためて記載又は添付を必要としない。

届出等担当者 (連絡先)	氏名 ○○○○	所属 部課名 ○○○課	電話 ○○○-○○○○ FAX ○○○-○○○○
公害防止管理者	選任 1 要 2 不要	選任要 のとき	職・氏名 試験又は 資格の区分
公害防止責任者	職・氏名		
従業員数	○○○人	主 要 製 品 名 ○○○○	日本標準産業分類の 小分類番号・項目 ○○○○
特定施設メーカー名	○○○○会社		処理施設メーカー名
特定施設が関係する製造工程の概要 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>			
新規立地工場・事業 場事前協議	1 要 2 不要	事前協議 のとき	協議終了年月日
特定施設等を 設置する土地	用途 地域	敷地 (既存面積 面積等 (新規・増加面積	m <sup>2</sup> m <sup>2</sup> 登記地目 )
特定施設等を 設置する建物	新築 (床面積 m <sup>2</sup> )	増改築 (床面積 m <sup>2</sup> )	
工場・事業場 当初設置年月日	日 年 月	水質関係特定施設 当初設置年月日	日 年 月
めっき施設の設置等 に係る事前協議	1 要 2 不要	事前協議 のとき	対象物質 協議終了年月日
排 水 先 (水質関係に係る届 出書に添付のときに のみ記載)	複数の排出口があり、異なる用水路・河川に排出される場合にはその全てについて記載すること 排水の排出先の用水路名 ( ) ↓ 排水の排出先の河川名 ( )		
公 害 防 止 協 定	締 結 ○ 1 有 2 無	締結有 のとき	今回の特定施設等の 届出に関する事前協議 ○ 1 要 2 不要 事前協議 1 協議済 要のとき 2 協議予定
周辺における公害 苦情等の問題	現在解決して いない苦情 ○ 1 有 2 無	有のときは その区分	1 ばい煙 3 汚水 5 騒音 7 その他 2 粉じん 4 悪臭 6 振動 ( )

その他、別紙として次の書類を添付する。

- 1 工場・事業場の平面図 (建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設を朱塗すること。なお、汚水に関する届出等については、排水の汚染状態を測定するための採水場所を記載、朱塗すること。)
- 2 工場・事業場の案内図 (工場・事業場に至る経路を記載すること。)
- 3 ばい煙に関する届出書等については煙突立面図 (主要寸法及び測定孔の位置を記載すること。) 及び使用燃料の分析表
- 4 水質に関する届出書で特定有害物質を使用等する施設については、条例施行規則第17条の規定を遵守していることを明示した図面等